

◆ 平成 27 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 見沼ファーム 21

代表者：理事長 島田由美子

URL : <http://www.minuma-farm21.com/>

1. 活動が必要とされた状況

当会の稻刈は、大半の田んぼでコンバインにより稻刈・脱穀を同時に行います。当会のコンバインは、脱穀枠を袋に収納する旧タイプで、枠袋の搬出には労力を要します。会員の高齢化も進み、労力軽減のため、グレンタンクと枠送りのアンローダーを備えた省力型のコンバインの導入が望まれております。主要工程である稻刈の軽効化は、作業余裕を生み、当会目的の見沼田んぼの営農環境の保全、生物多様性の保全、稻作文化の継承、田園景観の保全を図るためにも一助となります。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

稻刈は例年 9 月に集中して行います。今般助成により導入したグレンタンク付きコンバインと補助的に従来の袋取りコンバインを併用して、稻刈・脱穀を行いました。

田んぼ地域	実施時期	参加者	実施田んぼ枚数など
①上山口地区	9/3, 4	6 名	田んぼ 3 枚 (援農 5 反)
②新堀江地区	9/13	10 名	田んぼ 1 枚 (援農 2 反)
③新加田屋地区	9/19	23 名	田んぼ 1 枚 (公有地 1.9 反)
④大谷地区	9/21~23	5 名	田んぼ 6 枚 (公有地 6.6 反 援農 1.9 反)
⑤加田屋地区	9/27	33 名	田んぼ 3 枚 (公有地 3.6 反)
⑥見山地区	9/30	10 名	田んぼ 3 枚 (公有地 1.5 反 援農 3.5 反)
⑦片柳地区	10/4	12 名	田んぼ 3 枚 (公有地 2.2 反 援農 1.5 反)
⑧第 3 加田屋地区	9/14	6 名	田んぼ 1 枚 (公有地 2.4 反)
計 8 地区	延 10 日	延 99 名	計: 田んぼ 20 枚 (公有地 18.2 反 援農 13.9 反)

3. 活動の成果

本機は 2 条刈で、350L 容（袋取りの 7.5 袋分）のグレンタンクを備え、煙突状のアンローダーにより軽トラ積載 の枠コンテナ（自己資金にて導入）に、機械動作のみで枠搬送を行い、人の手は不要です。また停止した袋取替作業も無く、倒伏稻が無ければ 10a、60 分程で刈取ることが出来て作業効率も向上しました。期待通りの労力軽減効果が得られ、今後の活動に一段と弾みがつきました。



4. 今後に残された課題

これまでの助成のお陰で、田植機から稻刈、脱穀及び畦塗り、草刈、肥料散布等の動力農機が一通り揃いました。これら農機の習熟者の拡充と保守点検にも充分に留意し、更なる水田受託にも対応します。

